

平成28年度 県立宝塚高等学校 第54回生入学式式辞

春のうららかな陽射しの中、華やかな出発を祝うこの佳き日に、宝塚市議会議長 石倉加代子様はじめ、多数のご来賓、保護者の皆様のご臨席を賜り、兵庫県立宝塚高等学校第五十四回入学式を挙行できますことを心より感謝申し上げます。

ただいま、入学を許可いたしました二八〇名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、宝塚高校の生徒として、今、第一歩を踏み出しました。期待と不安が入り交じっていることと思いますが、今日から始まる本校での三年間で、自分の中に眠っている限りない可能性を探り当て、自分を大きく成長させてください。

本校は、昭和三十八年に、宝塚市内で初めての高等学校として開設され、今年で五十四年目を迎えます。卒業生は一万七千人を超え、歴史と伝統に輝く、地域の皆さまに愛される学校となりました。

本校の校訓には三つの言葉があります。

一つは、『剛健中正』（ごうけんちゅうせい）です。これは「身も心も健やかであれ」という意味です。

二つ目は、『誠意正心』（せいいせいしん）です。これは「正しい心で何事にも一生懸命であれ」という意味です。

三つ目は、『明朗闊達』（めいろうかつたつ）です。これは「明るく活発にリードをとれ」という意味です。

「一日一日を真剣に、何事にも心を込めて一生懸命に努力を続ければ、その積み重ねが立派な人間を形成していく」という思いが込められています。

高等学校の段階は、自分の人生をどう生きればいいのか、生きるの意味は何かということについていろいろ思い悩む時期です。また、周りの人との関係や社会の姿についても悩む時期です。悩みながら、自分の考えを深める時期でもあります。

今、世の中は激しく変化し、人々の価値観が多様化するとともに、社会はグローバル化されています。皆さんは、将来この時代を力強く生き抜いていかなければなりません。将来、どんなに社会が変化しようとも、社会人としてしっかり生きていくための基礎力を身につけておく必要があります。

皆さんには、「粘り強く一生懸命し続ける」という姿勢を、本校で貫いてほしいと思います。学習、学校行事、部活動、進路目標、どんなことでも、目標に向かって全力で努力し続けて、同じ県宝の仲間とともに切磋琢磨しながら自分自身を高めてください。

自分で考えて自分で判断し行動をとれる自立した人間に育ってほしいという全教職員の願いをこめて、本校では「人づくりの県宝」を教育理念として、様々な教育活動を行っています。そして皆さんの成長のための仕掛けをたくさん用意しています。県宝生として、それらに取り組むことで、是非この三年間を充実した豊かな時間にしてください。

終わりにになりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。私どもに寄せられている大きな期待をしっかりと受け止め、お子様の成長にとって何が大切なのか、何が必要なのかを共に考えながら、教職員一同、一丸となってお子様一人ひとりの自己実現のために努力を惜しまない所存でございます。どうか、本校の教育にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。入学生さんの限りない可能性を祝し、式辞といたします。

平成28年4月8日
県立宝塚高等学校長 下野厚子